

# 夢のF1レーサーへ向かう「井口 卓人(柳南中)」は今！

2008.1.12 朝日新聞掲載



## F3 トップシート獲得・2008年F3参戦

夢を追いかけ、小学6年の時、カートの世界に飛び込んだ若者がいた。

その時、若者は夢に向かってのシフトレバーに手を伸ばし、静かに「ロー」発進したのだ。若者は更なる夢を求めるため祐誠高校の自動車科へ入学した。若者は徐々に力をつけ遂に高校三年の時、カートの世界で全日本チャンピオンとなった。シフトレバーのギャは確実に「セコンド」に切り替わっていたのだ。

卒業前には、トヨタからの全面支援という幸運を得、若者はフォーミュラトヨタシリーズに活躍の場を移し、時速200km/hの世界へと飛躍した。過酷な戦いに挑みながらの毎日だった。しかし、フォーミュラトヨタシリーズは90年からの18年に及ぶ歴史にいったん幕を下ろすことになっていたのだ。夢の実現のためには今年が最後かも知れない…。一抹の不安が過ぎた。しかし若者はここまで6戦にも及ぶ激闘をかいくり富士スピードウェイでの最終戦、「F3選考会」の出場資格を獲得していたのだ。

2007年「年末」、夢を追いかけている若者は熾烈に戦いに挑み上位5名で争われる「F3シート・オーディション」ではトップタイムをマークした。この時若者は、栄光と同時に「F3トップシート獲得」という快挙に輝いたのだ。

レース終了後、この若者を称えこんなレース結果レポートが送られた。

『完璧に噛み合ったときの「井口」の早さは、誰もが認めるところである』

祐誠高校出身『井口 卓人(20歳)』彼は今、シフトレバーを「サード」へチェンジして、確実に『F1』の路へと邁進している。「トップ」走行出来る日も間近に迫った。

**夢に向かって Go！！**

### F3豆知識

F3とは自動車レースの最高峰、F1(フォーミュラ・ワン)、そこから数えて3番目に位置するフォーミュラカーのレース。それがF3です。F1ドライバーを目指す若手達が腕を磨くレースで、プロ野球に対する高校野球を想像してください。マシンの差が大きいF1と違い、マシン(2000cc・210馬力に統一)の差が出にくいF3ではドライバーの力量が問われるレースとなっており、ここで勝ち上がることがF1ドライバーになるための重要なステップと言えます。最高速度270km/hで争う国別・地域別選手権です。